

# 安全データシート

整理番号 : sunagro-60

作成日 2016年2月4日

改定日

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 くみあい苦土有機入り尿素複合液肥 046  
肥料登録番号 生第 63747 号  
製品名 くみあい有機液肥 046、みどり 2号

会社名 : 全国農業協同組合連合会  
担当部署 : 肥料農薬部  
住所 : 〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAL 133F  
電話番号 : 03-6271-8285  
Fax番号 : 03-5218-2536  
E-mail : zz\_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp  
緊急連絡先 : 03-6271-8285  
推奨用途及び使用上の制限 : 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないでください。

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

健康に対する有害性 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分2  
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2A  
呼吸器感作性 区分1  
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(呼吸器系)  
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器系)  
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(歯)  
環境に対する有害性 水生環境急性有害性 区分2  
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

### GHS ラベル要素

#### 絵表示



注意喚起語 危険  
危険有害性情報 皮膚及び眼刺激  
呼吸するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ  
呼吸器系の障害のおそれ  
長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系、歯の障害のおそれ  
水生生物に有害

#### 注意書き

##### [安全対策]

適切な個人用保護具を使用すること。  
保護手袋を着用すること。  
取扱い後は手をよく洗うこと。  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
環境への放出をさけること。

##### [応急措置]

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。  
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと  
眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。  
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢

[保管]  
[廃棄]

で休息させること。  
気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
施錠して保管すること。  
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	
尿素	～20%～	(NH <sub>2</sub> ) <sub>2</sub> CO	2-1732	既存	57-13-6
りん酸一アンモニウム	～4.6%～	NH <sub>4</sub> H <sub>2</sub> PO <sub>4</sub>	1-379	既存	7722-76-1
りん酸二アンモニウム	～2.7%～	(NH <sub>4</sub> ) <sub>2</sub> HPO <sub>4</sub>	1-379	既存	7783-28-0
塩化カリウム	～10%～	KCl	1-228	既存	7447-40-7
塩化マグネシウム	～5.4%～	MgCl <sub>2</sub>	1-233	既存	7786-30-3
副産動物質肥料	～2.5%～	—	—	—	—
廃糖蜜アルコール発酵濃縮廃液	～2.7%～	—	—	—	—
トリポリリン酸ナトリウム	～0.1%～	Na <sub>5</sub> P <sub>3</sub> O <sub>10</sub>	1-497	既存	7758-29-4
クエン酸	～1%～	C <sub>6</sub> H <sub>8</sub> O <sub>7</sub>	2-1318	既存	77-92-9
塩酸 (100%換算)	～1.4%～	HCl	1-215	既存	7647-01-0
安臭香酸ナトリウム	～0.05%～	C <sub>7</sub> H <sub>5</sub> NaO <sub>2</sub>	3-1293	既存	532-32-1
水	～49.55%～	H <sub>2</sub> O	—	—	7732-18-5

分類に寄与する不純物及び  
安定化添加物  
労働安全衛生法

情報なし  
名称等を通知すべき危険物及び有害物  
(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)  
塩化水素 (政令番号：98) (1.4%)

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

皮膚を速やかに洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合、必要に応じて医師の診断を受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。  
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。  
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

粉末消火剤、泡消火剤

使ってはならない消火剤

情報なし

特有の危険有害性

情報なし

特有の消火方法

情報なし

消火を行う者の保護

適切な保護衣を着用し、眼、鼻、口を覆う保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。  
関係者以外の立入りを禁止する。  
作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び  
 浄化の方法及び機材  
 二次災害の防止策

乾燥土、砂や不燃材料で覆い、更にシートで飛散を防止する。  
 可燃物(木、紙、油等)は漏洩物から隔離する。  
 排水溝、下水溝への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意  
 取扱い

技術的対策  
 安全取扱注意事項

情報なし  
 使用前に使用説明書を入手すること。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。  
 接触、吸入又は飲み込みを避けること。  
 取扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをすること。  
 「10. 安定性及び反応性」を参照。

接触回避

保管  
 保管条件  
 容器包装材料

施錠して保管すること。  
 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
尿素	未設定	未設定	未設定
りん酸一アンモニウム	未設定	未設定	未設定
りん酸二アンモニウム	未設定	未設定	未設定
塩化カリウム	未設定	未設定	未設定
塩化マグネシウム	未設定	未設定	未設定
副産動物質肥料	未設定	未設定	未設定
廃糖蜜アルコール発酵濃縮廃液	未設定	未設定	未設定
トリポリリン酸ナトリウム	未設定	未設定	未設定
クエン酸	未設定	未設定	未設定
塩酸	未設定	5ppm 7.5 mg/m3	TLV-C 2 ppm
安臭香酸ナトリウム	未設定	未設定	未設定
水	未設定	未設定	未設定

設備対策

ハウス、温室等の施設内で使用する場合、換気を行うこと。  
 本製品を取扱う作業場には、洗眼器とシャワーを設置することが望ましい。

保護具

呼吸用保護具  
 手の保護具  
 眼の保護具  
 皮膚及び身体の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。  
 適切な保護手袋を着用すること。  
 適切な眼の保護具を着用すること。  
 適切な顔面用の保護具を着用すること。  
 適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態  
 形状  
 色

液体  
 液状  
 茶褐色

臭い  
 比重  
 pH  
 融点・凝固点

微臭  
 約 1.2  
 情報なし  
 情報なし

引火点	情報なし
n-オクタノール／水分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

製品として	情報なし
-------	------

塩化水素として

急性毒性：経口

ラット LD50 = 238～277 mg/kg、700 mg/kg (SIDS (2009))  
より、危険性の高い方の区分3とした。

:吸入 吸入 (ガス)

ラット LC50 = 4.2, 4.7, 283 mg/L/60min (4時間換算値：順に、  
1411、1579、95083 ppm) (SIDS (2009)) より、危険性の高い  
方の区分3とした。

皮膚腐食性・刺激性

ウサギを用いた皮膚刺激性試験で、1～4時間ばく露により濃  
度次第で腐食性が認められていること (SIDS (2009))、マウス  
あるいはラットに5～30分ばく露により刺激性および皮膚の  
変色を伴う潰瘍が起きていること (SIDS (2009))、またヒトで  
も軽度～重度の刺激性、潰瘍や薬傷を起こした報告もある  
(SIDS (2009))。以上より、本物質は腐食性を有すると考えら  
れるので区分1とした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

皮膚腐食性で区分1に分類されている。眼の損傷・刺激性に関  
してはすべて本物質の水溶液である塩酸ばく露による。ウサギ  
を含め複数の動物試験の結果、眼に対する重度の刺激または損  
傷性、腐食性を示すとの記述があり (SIDS (2002))、また、ヒ  
トにおいても永続的な損傷や失明のおそれが記載されている  
(SIDS (2002)) ので区分1とした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性：日本職業・環境アレルギー学会特設委員会にて  
作成された職業性アレルギーの感作性化学物質の一つとして  
リストアップされているので区分1とした。なお、ヒトで塩化  
水素を含む清掃剤にばく露後気管支痙攣を起こし、1年後にな  
お僅かの刺激により喘息様症状を呈したとの報告がある  
(ACGIH (2003))。

特定標的臓器・全身毒性  
(単回ばく露)

ヒトで吸入ばく露により呼吸困難、喉頭炎、気管支炎、気管支  
収縮、肺炎などの症状を呈し、上気道の浮腫、炎症、壊死、肺  
水腫が報告されている。(DFGOTvol.6 (1994)、PATTY (5th,  
2001)、(IARC 54(1992)、ACGIH (2003))。また、動物試験では  
粘膜壊死を伴う気管支炎、肺の浮腫、出血、血栓など、肺や気  
管支に形態的傷害を伴う毒性影響がガイダンス値の区分1の  
範囲で認められている (ACGIH (2003)、SIDS (2009))。以上の  
ヒトおよび動物の情報に基づき区分1 (呼吸器系) とした。

特定標的臓器・全身毒性  
(反復ばく露)

ヒトで反復ばく露を受け侵食による歯の損傷を訴える報告  
が複数あり (SIDS (2002)、EHC 21(1982)、DFGOTvol.6 (1994)、  
PATTY (5th, 2001))、さらに慢性気管支炎の発生頻度増加も報  
告されている (DFGOTvol.6 (1994))。これらの情報に基づき区

分1（菌、呼吸器系）とした。

- |                     |  |
|---------------------|--|
| 12. 環境影響情報          |  |
| 環境に対する有害性           | 製品としての情報なし   |
| オゾン層への有害性           | データなし  |
| 生態毒性                | 製品としての情報なし   |
| 35%塩酸として            | 水生生物に毒性 区分2<br>甲殻類(オオミジンコ)：48時間 EC50=0.492mg/L (SIDS、2005)   |
| 13. 廃棄上の注意          |  |
| 残余廃棄物               | 廃棄においては、関連法規及び地方自治体の基準に従うこと。   |
| 汚染容器及び包装            | 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。<br>関連法規及び地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。   |
| 14. 輸送上の注意          |  |
| 国際規制                |  |
| 国連番号                | 該当なし   |
| 国連分類                | 該当なし   |
| 容器等級(Packing Group) | 該当なし   |
| 国内規制                | 該当なし   |
| 特別の安全対策             | 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に<br>行う。<br>食品や飼料と一緒に輸送してはならない。  |
| 15. 適用法令            |  |
| 労働安全衛生法             | 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)   |
| 水質汚濁防止法             | 指定物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)  |
| 海洋汚染防止法             | 有害でない物質(施行令別表第1の2)<br>有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)  |
| 16. その他の情報          |  |
| 参考文献                | 14096の化学商品(化学工業日報社)  |
| その他                 | この情報は新しい知見により改訂されることがありますので<br>ご了承ください。ここに記載された情報は、当社で調査でき<br>る範囲の情報であり、情報の正確さは保証するものではありません。<br>化学品には予見できない有害性がありうるため取扱いには細心の注意を払って<br>ください。本品の適正な使用については、使用者において行ってください。 |

本SDSは、下記サンアグロ株式会社の情報を元に作成しました。該当物質については、下記にお問い合わせください。

会社名	サンアグロ株式会社
住所	東京都中央区日本橋本町1丁目10番5号 日産江戸橋ビル
担当部門	生産技術部
電話番号	03-3510-3610
FAX番号	03-3273-8432
緊急連絡先	サンアグロ株式会社 大阪工場 製造課
電話番号	06-6552-1212